



旧長崎英国領事館

THE FORMER BRITISH CONSULATE in Nagasaki

OPEN

令和8年1月30日(金) 午後1時オープン

約11年に及ぶ保存修理工事を経て、  
このたび開館いたします。

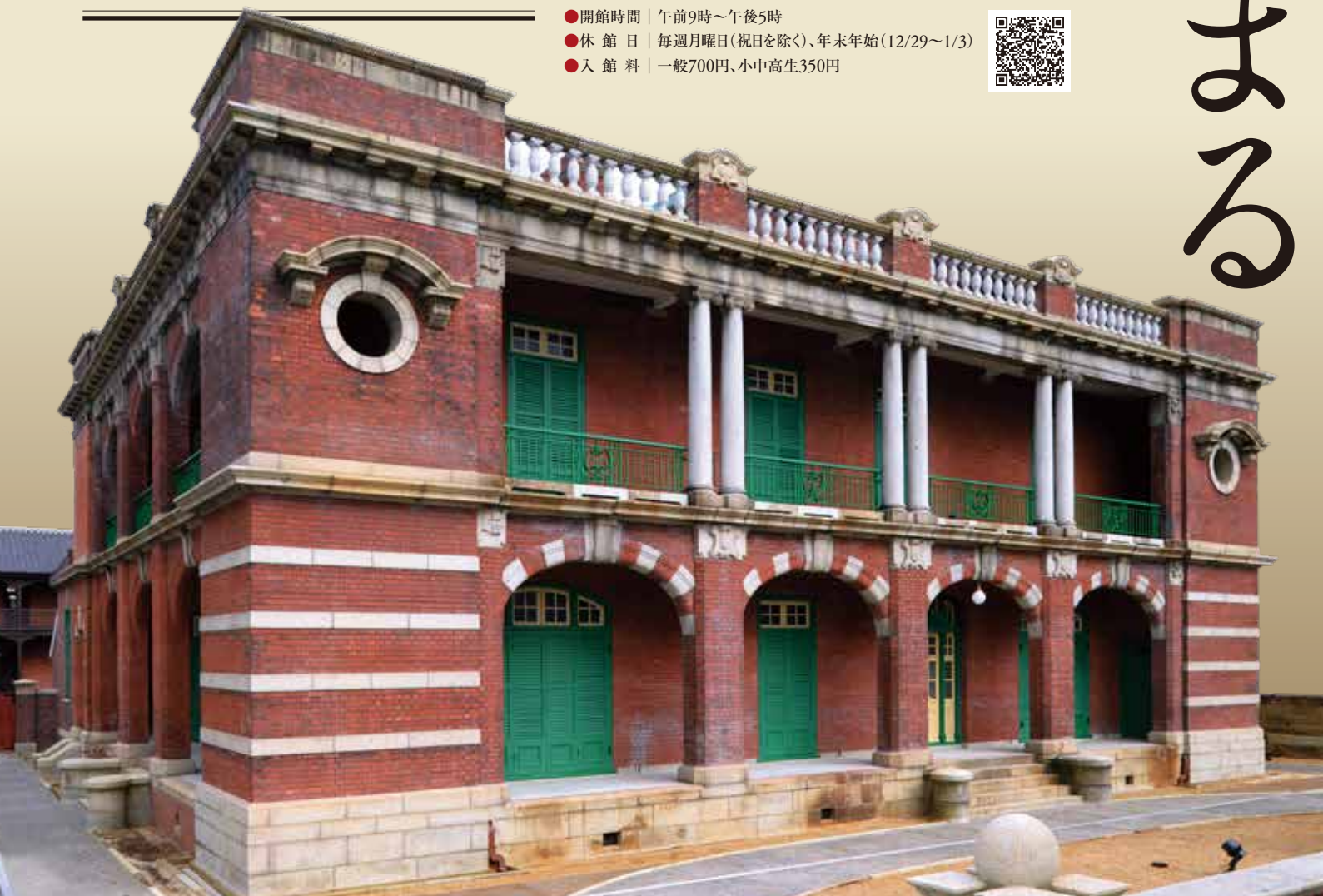
国指定重要文化財

旧長崎英国領事館

**1F** 領事館展示室 **2F** 長崎市野口彌太郎記念美術館

長崎市大浦町1番37号 TEL.095-829-1193(長崎市文化観光部文化財課)

- 開館時間 | 午前9時～午後5時
- 休館日 | 毎週月曜日(祝日を除く)、年末年始(12/29～1/3)
- 入館料 | 一般700円、小中高生350円



長崎から始まる  
日英の絆





# 「旧長崎英国領事館」開館

国指定重要文化財 旧長崎英国領事館

■指定年月日 | 平成2年3月19日

■指定範囲 | 本館、附属屋、職員住宅  
附 旧門番所、職員住宅便所、煉瓦塀及び石塀  
領事館敷地

■概要 | 本館、附属屋、職員住宅をはじめ、各建物の質が良く敷地全体にわたって建築当時の姿をとどめています。また、保存修理中には新たに、衛生設備や旗竿の基礎などの地下遺構が確認され、当時の技術が確認できます。

## 1F 領事館展示室

安政5年(1858)、日英修好通商条約が締結され、開港場となった長崎には英国領事館が置かれ、外交事務が始められました。現存する旧長崎英国領事館は、明治41年(1908)に英国人の設計に基づき、日本人の施工者によって新築されたもので、明治期の国際交流と建築技術を今に伝えています。

このたび約11年の保存修理工事を経て、令和8年1月30日(金)に新たに開館します。

領事館本館1階は、領事の執務空間と応接間などのおもてなしの空間でした。ここでは、長崎の英国領事館や居留地の歴史、そして、アンティーク家具とともに当時の英国人の文化をご紹介します。また、書斎や寝室など、領事とその家族の私的な空間であった2階は、日本洋画家野口彌太郎の記念美術館として絵画の展示を行っています。

## 2F 長崎市野口彌太郎記念美術館



野口彌太郎 (1899~1976)  
NOGUCHI Yataro

日本的なフォービズムの画風を確立した画家。海外での制作活動を行いながら、戦後の長崎を幾度も訪れ、長崎の風景や人物を描いた。

独立美術協会所属。滞欧作品展が評価され第5回毎日芸術賞を受賞、「那智の滝」が第23回芸術選奨文部大臣賞を受賞。



オランダ坂(油彩, 1954年)



大浦天主堂(油彩, 1970年)



旧長崎英国領事館  
THE FORMER BRITISH CONSULATE in Nagasaki

長崎市大浦町1番37号 TEL.095-829-1193(長崎市文化観光部文化財課)

アクセス

●路面電車:「大浦海岸通り」下車徒歩3分

●バス:「メディカルセンター」下車徒歩2分

※専用駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。